

小学校では宿泊行事の準備に、中学校では部活動の引継ぎや今後の大会準備に、まだまだ忙しい時期ですが、1学期もまとめになります。学級で行ってきた活動を振り返り、それぞれのよさやがんばりが認められたり、これからの取組の見通しがもてたりして、夏休みが迎えられようようにしていきたいですね。また、この時期に、情報モラルの指導や野外活動での事故防止に関する指導も行いたいものです。



<小学校>

褒めることは大事だと分かっているけど…

☆なかなか褒めるのは難しい。

☆できない点だけに目がいきがち。

☆1度言ったことができていないと、「何でできないの!」とつい言ってしまう。



心に響く褒め方のススメ

当たり前前のご褒め!

【例】「元氣な挨拶。気持ちがいいね〜。」

【例】「集中して、じっくりと本が読んでいたね!」

できていることのよさを認め、褒めましょう。認められたことが、先生への信頼を厚くします。

結果ではなく過程を褒める!

【例】(苦手な魚も少しは食べようと思い、初めて半分食べた子に。)「〇〇さん、やったね!好き嫌いなく食べようがんばったね。すごいぞ!」

その子ががんばったことに共感することが大切です。がんばったことを褒められると、自信をもち、次へのやる気も高まります。

「強いこだわりがある児童」を支援するポイント

こだわっていることを生かす工夫や、友達とかかわるきっかけづくりを!

Nさんは恐竜が大好きで、友だちから恐竜博士と言われていました。しかし、興味のないことや、新しいことには抵抗があり、遠巻きに見ています。

そこで、

- ・ Nさんと仲の良い子とを同じ班にして、友だちと一緒にやることで抵抗を少なくしてみました。
- ・ 遠巻きに見ている行動を活動に対する不安な気持ちの表れと考え、Nさんに寄り添って努めて話を聞くようにしました。
- ・ 恐竜に興味があることを生かして、学習場面で恐竜を題材にしたり、恐竜から話を広げたりして興味の幅を広げていくことにしました。

→ 少しずつ、いろいろなことに友だちと一緒に取り組めるようになり、興味の幅も広がりました。

<中学校>

行事を学級づくりの好機に

1学期末には、1、2年生の学年行事として、登山やキャンプなどを計画している学校が多いことと思います。学級の人間関係を見直し、深めていくチャンスです。

1 生徒同士の信頼関係を深める場面づくりを

食事の準備での協力や、登山道での励まし合いなど、生徒が互いのよさに気付く場面がたくさんあるはずです。級友とよさを伝え合う「今日のキラリ!」を反省会に位置付け、温かな心が通い合う場面をつくってみませんか。

2 生徒のよさを認める全体や個への声かけを

まとまりのある行動や率先した係活動などを写真や映像に残しておく、学級のよさや成長を振り返る「スライド上映会」などで、全体を褒める場面をつくることができます。

また、普段と異なる環境だからこそ表れる個のよさをとらえ、個別によさをさりげなく伝えて褒めることは、教師と生徒との心のつながりを強くしていくことにつながります。

「新しいことが不安な生徒」を支援するポイント

具体的なイメージをもたせる視覚資料の活用や、部分参加等の弾力化の工夫を!

Rさんは新しいことに不安をもちやすく、行事の時などは日程ややること等を何度も質問してきます。行事の日は学校に遅刻してくるようにもなりました。そこで、

- ・ 昨年の行事の時のビデオ等を見たり、会場の見学をしたりして説明をしました。
- ・ 本人が見やすいスケジュール表を作成しました。簡単な絵や写真などを入れ、イメージがもちやすいようにしました。
- ・ 本人が心配な気持ちを受け止め、話を良く聞きました。
- ・ 自分で参加できそうなところを選び、一部だけ参加してみるなどスモールステップで参加できるようにしてみました。

→ 行事に参加することに抵抗が少なくなり、質問も減ってきました。